

## ① 2022年度の重点取り組み目標・計画の実施状況

## ア.地球温暖化対策【温室効果ガスの抑制】

CO<sub>2</sub>について、燃料、電力の省エネルギー、生産効率改善、加工方法の改善などを通じて、排出量の削減、排出原単位の低減に努めています。当社では、CO<sub>2</sub>排出量を昨年度2002年度比で、-12.5%削減、一昨年度比で1%削減を目標に取り組みましたが、昨年度の実績では、下表に示す通り、生産量が一昨年度比 14%減少し、CO<sub>2</sub>排出量は2002年度比で 4% 増加しましたが、原単位は、15%削減できています。

今年度の目標を2002年度比 原単位 7.24 %削減に、一昨年度比で1%削減を目標に改善を行っていきます。

工場CO<sub>2</sub>排出状況

項目		2002年 (基準年)	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (計画)
製造量	(t)								
工場CO <sub>2</sub> 排出量 (t)	ガス購入								
	電力購入								
	合計								
工場排出原単位(kg/t)									

## イ.省エネルギーの推進

都市ガス、電力、総量削減を実施していますが、昨年度は受注量の回復と熱処理品の需要が増えたことで、都市ガスで基準年比 20% 増加、電力は、7% 減少しました。今年度は、受注量の拡大を継続して進める計画ですが、生産量では昨年度比で当程度の見込みでCO<sub>2</sub>排出総量は、省エネルギー対策で 11% 削減の計画です。よって、原単位でも削減を図り、昨年度比 13% 改善を目指します。

低迷の具体的な推進方法としては、省エネルギー活動の推進で進めている生産効率の高い設備への更新、製法の熱間鍛造より冷間鍛造かも継続して進めます。

②公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた処置・対策

目標項目		目標達成状況	目標達成のために講じた処置・対策
防大 止気 対汚 策染	ばい煙の排出規制の遵守	排出にかかる規制値を全ての測定結果が満たしていた。	◆排ガス処理施設の適正な維持管理に努める。
<b>(公共用水域に排出する場合)</b>			
防水 防止 対汚 策濁	排出水の水質管理及び汚濁負荷の総量管理	排出にかかる目標値を全ての測定結果が満たしていた。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排出水の汚濁状態測定計画」及び「排出水の汚濁負荷量の測定計画」に基づき目標値の遵守状況を確認した。
<b>(特定有害物質(**)を使用していないこと)</b>			
防土 止壤 対汚 策染	土壤汚染の未然防止	事業所で有害物質(ジクロロメタン等)の使用が無い事を確認。	◆購入薬品類に有害物質の使用が無いか監視。

③地球温暖化対策に係る報告

ア. 2022年における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量(MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数CO <sub>2</sub>	合計(CO <sub>2</sub> 換算)
					kg-CO <sub>2</sub> /MJ	kg-CO <sub>2</sub>		
燃料の使用	原料炭		kg	28.9	0.0867		1	
	一般灰		kg	26.6	0.0906		1	
	A重油		ℓ	29.1	0.0693		1	
	B重油		ℓ	40.4	0.0705		1	
	軽油		ℓ	37.7	0.0686		1	
	LPG		kg	50.2	0.0598		1	
	都市ガス		Nm <sup>3</sup>	45.0	0.0496		1	
	その他(廃棄物等)		kg	-	-		1	
電気事象者から共有された電気の使用	一般電気事業者		MkWh		0.351		1	
熱共有事象者から共有された熱の使用			MJ		0.0670		1	
合計								

イ. 当該年度の計画達成状況

温室効果ガス t-CO <sub>2</sub>	排出量		削減目標	削減率(%)	
	一昨年度 (2021年度)	昨年度 (2022年度)	今年度 (2023年度)	昨年度 (2022年度)	今年度 (2023年度)
二酸化炭素				-5%	11%
メタン					
一酸化二窒素					
HFC					
PFC					
六フッ化硫黄					
合計				-	-

ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所等での節電・燃料使用量の削減	節電	休み時間等に消灯	100%	96%
			省電力伝統へ切り替え	交換時実施	95%
		燃料の節減	バーナー清掃、空気比調整	全バーナー	85%
2	環境負荷の少ない加工方法の選択	冷間鍛造化	熱間より冷間鍛造への加工方法変更	最低2品目の切り替え	2020年度で1品目切り替え済み
3	設備の運転効率の改善	空気圧縮機の圧力調整	圧力を0.6→0.58MPa	全期調整	完了
		複数設備の集約化	集中生産に努める。	月次で調整	80%
		熱間鍛造素材の加熱温度低減	加熱温度1,150~1,250℃ 1,150~1,200℃へ変更	徹底	87%

④公害防止対策及、球温暖化対策意外の環境保全活動に係る報告

2022年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

	分野	項目	細目	目標	実施状況	
1	事業所での 節水	節水	循環水の活用、漏れをなくす	2002年度比 原単位で38%減	40%削減	
2	事業所等での 配布物の 適正処理・ 減量	空缶、空瓶、紙等の分別 回収	紙類の専用収集ボックス の設置	全職場に設置	100%	
			両面コピーの徹底	比率50%以下	50%以下	
		廃棄物発生量の削減	コピー用紙の使用削減	ミスコピー紙の再利用	徹底	概ね実施
			ペーパーレス化の推進	紙使用量20%削減	10%削減	
			生ごみの肥料化	社員食堂の茶 殻を植栽の肥	100%	
			割りばし使用の抑制	食堂に塗箸を設置	設置済み	
納入業者への梱包削減 依頼	全納入業者に 依頼	製造部長名に て協力要請				
3	事業所等での 再生製品 等の使用	グリーン購入の実施	文房具	100%	80%	
			機械器具・備品	新規購入時切り替え	概ね実施	
			サービス	可能な限り実施	-	
		再生紙の使用促進	コピー用紙、パンフレット 等の再生紙利用	50%以上	55%	
		プリンター・トナーカートリッ ジの再生利用	-	推奨	推奨して実施	
		充電電池等の利用	-	推奨	推奨して実施	
4	環境負荷の 少ない資 源、材料、 燃料の選択	廃棄の際の環境影響を 配慮した材料の選定	処分可能部分の塩素化 化合物の削減、切削油・潤 滑油の塩素添加禁止	全廃	100%	
			梱包用段ボールの通い箱化	年2件以上	2件（新規受注）	
			フォークリフトの電気化	年2台以上切り替え	'23/4完了	
5	自動車対策	マイカー通勤の抑制	-	20%	環境教育等で指導	
		積載量の適正化	啓発文書の配布	全車両及び運搬車両	適時指導	
		アイドリングストップの推進	啓発文書の配布	全車両及び運搬車両	適時指導	
		低公害・省エネルギーな 自動車への転換	-	車両買い替え時	1台買い替え	
		クリーン配送の実施	搬入搬出車両	運送業者に協力要請	2社実施中	
6	特定フロン等 排出量の抑 制	設備更新時に特定フロン 非使用設備を導入	-	新規導入時	100%	
		業務用エアコンの点検	自主点検と業者点検	3か月と3年毎	2015年以降実施	
		特定フロン等使用機器 廃棄時の訂正処理	-	廃棄時	100%	
7	従業員教育	社員研修	-	半期ごとに実施	2回開催 (延べ55人)	
		朝礼等での啓発	-	随時	随時実施	
8	地域社会への 参画	事業所周辺の清掃活動	-	2回/年実施	2回実施 (延べ50人)	
9	環境管理シス テムの充実	ISO14001の取得	-	全製造事業所取得	済	
		内部監査の実施	-	1回/年	1回/年実施	